

令和3年度 成年後見・終活サポート事業 事業計画

1 コンセプト

(1) 福祉・医療の専門性を生かした支援

「自分らしく生きる」という当法人の理念に基づき、身寄りがいてもいなくても最期まで住み慣れた地域で自分らしく暮らすことができるよう、社会福祉士等の専門職がその専門性を活かし、老後の様々な不安や課題についての相談支援にあたります。

(2) 老後の様々な不安や課題を解決できるワンストップサービス

老後の様々な不安や課題を解決するための様々なサービス(成年後見、終活に関するサービス)を提供します。また、地元の様々な士業・事業者と連携・協働し、包括的・継続的支援の仕組みづくりを行います。

2 職員の行動指針

- (1) ご本人のお気持ちに寄り添い、ご本人にとって最善の意思決定ができるよう支援します
- (2) 風通しの良い職場環境をつくり、職員がワンチームとなって支援にあたります
- (3) 各々の専門性や職業倫理を常に磨きあう努力をします

3 営業日と営業時間

平日 9:00~17:00

※ 窓口は午前のみ。午後や緊急時は転送電話にて対応。

※ 土・日・祝日、年末年始(12月30日~1月3日)の営業はありません

4 事業内容

(1) シニアライフ相談(通年)

老後の不安を丸ごと受け止め解決できるようなワンストップの相談窓口を開設する。福祉・医療分野の知識や経験が豊富な社会福祉士等が対応する。

十いろのサービスにおつなげするとともに、葬儀の生前契約、墓じまい・ご供養、空家管理などについて、その道のプロにおつなぎする。

数値目標：月1件、年12件

(2) 老後の不安を解決するための様々なサービス提供(通年)

- ①終活プランのご提案
- ②見守りサポート(定期的見守り訪問、病院や市役所窓口での手続支援等)
- ③エンディングノートの作成支援
- ④成年後見の受任(法定後見、任意後見)
- ⑤遺言書作成サポート
- ⑥尊厳死宣言公正証書(リビングウィル)作成サポート
- ⑦死後事務委任契約(死後のサポート内容を生前に決め契約書に定めておく)

数値目標：後見人等の新規受任13件、見守りサポート新規契約3件

エンディングノート新規作成支援1件、任意後見契約1件、死後事務+遺言書1件

(3) 終活プロジェクト

- ・終活サポートに関心のある方や今後十いろの終活サポートにご協力いただける方を対象に、終活サポートに必要な知識・技術を学ぶ。
- ・先行的な取り組みを参考に、妻有地域の実情に即した終活サポートの仕組みについて検討し、マニュアルや必要書類等を作成する。

①勉強会

テーマ：おひとりさまの終活

全9回（毎月第1水曜日、18時～）

主な内容

横須賀市エンディングプラン・サポート事業について、死後事務委任契約と実務、相続・遺言
老後や死後に必要なお金の話、地域の葬儀の実情と新たな形、生前整理・遺品整理、不動産管
理・処分、永代供養と墓じまい、医療同意・ACPと十日町地域の看取りの現状

数値目標：参加者20名（各回）

②検討会

コロナ禍を鑑み、令和4年度に検討会を実施する。

(4) 終活出前講座（通年）

妻有地域の住民が集まる場に出向き、老後に向けた終活の必要性を周知・啓発するために、職員を講師として派遣する。

数値目標：派遣依頼数6件

(5) ソーシャルワーカーの集い『GOTCHA』

妻有地域で活動する社会福祉士等ソーシャルワーカーの資質向上や顔の見える関係づくりを趣旨として、成年後見、終活、身寄りなし問題に関すること、ソーシャルワーク技術の向上に関すること等を内容とした勉強会を行う。

1回目：勉強会（成年後見実務者養成事業の住民向けセミナーを充てる）

2回目：身寄りなし問題に関する事例検討（医療同意、身元引受、連帯保証が課題になる事例）

数値目標：参加者20名（各回）

(6) 成年後見実務者養成事業

魚沼地域の成年後見制度に関心の高い市民をを対象に、成年後見実務者養成研修、成年後見実務者フォローアップを開催し、今後十いろの法人後見支援員として活動できる人員を確保する。

養成研修開催前に、多くの住民に後見活動に関心を持って頂けるよう『住民向けセミナー』を開催し、周知につなげる。

コロナ禍において必ず開催できるよう、集合研修とオンライン研修を組み合わせる形で実施する。オンライン研修は録画配信とし、期間中いつでも視聴でき受講しやすい体制をとる。オンライン研修時の出欠は視聴履歴を取ることで把握する。

数値目標：参加者12名、支援員としての活動者10名

5 年間スケジュール

	終活プロジェクト	GOTCHA	成年後見人養成講座
4月			
5月			
6月			
7月	勉強会	成年後見住民向けセミナー	
8月	勉強会		
9月	勉強会		養成研修参加者オリエンテーション
10月	勉強会	勉強会	成年後見実務者養成研修 ～11月
11月	勉強会		養成研修修了者の登録、現場研修
12月	勉強会		
1月	勉強会		
2月	勉強会	事例検討	
3月	勉強会		実務者フォローアップ研修

※終活セミナー（住民向けセミナー）は令和4年度からの開始とします

令和3年度 放課後等デイサービスヒュッケ事業計画書

はじめに

十日町圏域における特別支援教育は、十日町小学校に併設された児童発達支援センター「おひさま」並びに「ふれあいの丘支援学校」を中心に展開がなされている。障害児をもつ家族の療育や特別支援教育に対する期待が大きく、放課後等デイサービスのニーズの高まりが見られる。

しかし、令和2年4月時点で、圏域における放課後等デイサービス事業所は2か所で、いずれも定員を満たし、新たな受け入れができない状況にあった。

そこで、これらの発達支援ニーズを充足するため、令和3年4月から圏域3か所目となる「放課後等デイサービスヒュッケ」を開設するに至った。専門家集団によるNPO法人として唯一無二のコンセプトをもって経営することを目指す。

◎コンセプト

- ・子どもも大人も互いに成長できます。

◎遊びを通じた発達支援の取り組み

- ・遊びを通じて、「好き (LIKE&LOVE)」が見つかります。
- ・遊びを通じて、あいさつや返事ができるようになります。
- ・遊びを通じて、お互いにゆずりあえる心が育ちます
- ・遊びを通じて、ひとりで過ごせるようになります。

◎私たちの信条・心構え (クレド)

- (1) 安全安心を基本としてサービスを提供します。
- (2) 一人ひとりの個別性を理解した支援をします。
- (3) 本人意思を大切にした支援を行います
- (4) ワンチームで支援します。

1 利用者状況 (開所時の登録予定者数)

	小学校低学年	小学校高学年	中学生	高校生	合計
男子	1	3		1	5
女子		2	1		3

2 職員状況 (予定)

職名	人数	常勤換算数
管理者兼児童発達支援管理責任者	1	1.0
児童指導員	1	1.0
指導員	4	1.6

3 令和3年度達成目標

- (1) 登録者数 17名、年平均稼働率 80%を目指す。
- (2) 利用者並びに家族等へサービス向上のためのニーズ把握を行う。

- (3) 利用者並びに家族等が遊びを通じて楽しめて満足できる支援を行う。
- (4) スタッフの支援力の向上を目指す。

4 支援内容

- (1) 児童発達支援計画や、複数のスタッフにより行われたアセスメントをもとに作成された個別活動計画書に沿った支援
- (2) 集団指導計画に沿った支援による、社会性育成と各種規範の理解の促進
- (3) 関係支援機関と連携した家族支援

5 職員研修計画

月	研修項目	研修内容
4月	知的障害の定義	世界保健機関等主な機関に係る定義を確認
5月	行動分析の基本	行動分析の考え方と支援
6月	身体拘束と虐待防止	身体拘束三原則と支援の姿勢、整備書類
7月	自閉症の定義と支援	自閉症の三つ組み定義と特性理解 発達障害児者に対する支援の基本
8月	TEACCHの考え方	TEACCH理念と支援の基本
9月	カウンセリング技法	本人中心療法とPCPの考え方について
10月	コミュニケーション技法	コミュニケーションの仕組みと技法
11月	法制度と人権	知的障害、発達障害に係る法律と指針
12月	障害者差別解消法	合理的配慮と差別解消について
1月	障害者権利条約	権利条約の位置づけと内容理解
2月	意思決定支援	意思決定の規定がある法律の確認と支援内容
3月	リスクマネジメント	リスクマネジメントとインシデントの理解

6 臨床心理士をスーパーバイザーに迎えた事例検討会

- (1) 月1回事例検討会を開催し、臨床心理士によるスーパーバイズを受けることで、スタッフの支援力の向上につなげる。
- (2) 事例検討会で検討した結果や、スーパーバイザーからの助言を家族にフィードバックすることで、利用者の成長や家族の変化につなげる。

おわりに

利用者の安全・安心を念頭に、スタッフ会議を通じたモニタリングと支援の改善、研修やスーパーバイズを通じたスタッフの支援力の向上、個別の発達目標に沿った遊び・活動の開発と提供を実現することにより、利用者・家族の満足度が向上し、「また来たい」「また預けたい」という気持ちを持って頂くことにつながる。その結果、登録者数や稼働率の目標達成につながると考える。

また、11月を目途に、国のガイドラインに沿った自己評価・保護者評価を実施し、更なるサービスの質の向上や改善につなげていきたい。

そして、児童発達支援センター、相談支援事業所、学校等との情報共有に努め、利用者の発達段階の正確な把握、家族支援に活かしていきたい